
観覧車の精霊

びお

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

観覧車の精霊

【コード】

N9965Q

【作者名】

びお

【あらすじ】

この観覧車に乗ると精霊（ツンデレ？）が語りかけてきます。

けれど、決してメルヘンではない現実的な遊園地です。ご注意ください！

(前書き)

メルヘンではないのでご注意ください！

まあ、珍しい。

あたいの声が聞こえるのね。

地上に降りるまでの暇つぶしに、あたいの話相手になってくれない？
なにせ、15年間ここから離れられなくて暇なのよ。

あんたの返事がどうであれ、話聞いてってもらおうわ。

どうせ、途中で降りることなんてできないんだから、あきらめて。

そう、それでね・・・

あたい15年前この観覧車ができた時に生まれたんだけど、
これに乗ってくる人間たちをズーッと見てた。
それにしても、あんたたち人間って不可解よね。

例えばこんなセリフ聞いたことない？

『ここから落ちたらどうしよう〜』

失礼ね！落とさないわよ。

しかも、本気で怖がってなんかいない。だって笑顔なのよ。
意味がわからない。

でもね、このやりとりを見て3年くらいたった時にあたい気付いた
の。

これは、次にくるセリフと行動を起こされるための合図なんだって。

『じゃあ、揺らしてみようか？』

ガタツ・・・ぐらぐらぐら・・・
『きゃーきゃーやめてよー』

そう、みんな揺らしたがるのよね。いわゆる・・・お約束っていうやつ？

それで楽しむなんて野蛮だわ。

ゆっくり回るから飽きるのもわかるんだけど、

あんたたち景色眺めなさいよ！

まあ・・・景色眺めていいムードになりすぎるも困るけど。

『わあー綺麗。』

『本当だ。もうすぐ頂上だしね。』

『ねえ、知ってる？ここの頂上でキ』

ストーーーーップ！！

言わせないわよ！まあ、こんなジンクスあるわよね。

どなんだって？

なんで、あ、あたいは、そんなこと説明しなきゃいけないのよ！！

・・・噛んじやったじゃない。

あんたその顔は知ってて聞いたわね。

あたいが何かしてるんじゃないかって！？

してないわよ。あたひ、ここから離れられないんだから

カップルの運命や行く末なんて知ったこっちゃないわ。

このジंकクスってさあ、園長の策略だと思わない？
バレンタインのイベントがチョコ会社の策略であったように・・・。
なんだか、そう考えるとロマンチックなものも
なんだか虚しくなってくるわね。フフフ。

あら、そろそろ地上に到達ね。御苦労さま。
また会えることを願ってるわ。

「お疲れ様でしたー」
落ちるとか、止まるなんてこともなく無事地上に着き、
係りのお姉さんに笑顔で迎えられた。
だけど、僕のテンションは盛り下がっていた。
隣で僕と手をつないで歩いている彼女もなんだか浮かない顔をして
いる。

今、観覧車から降りてきたカップルにも
なんだかどんよりとした空気が漂っているのがわかる。
さつきまで、ここは夢の国だったはずなのに・・・

僕はもう一度、パンフレットを見直した。
そこには

『精霊のいる観覧車』

とちゃんと記されてあった。

・・・あんなアナウンス精霊がいる観覧車は嫌だ。

(後書き)

【後日談】

僕たちの乗ったあの観覧車は、
テンションの下がる観覧車として今テレビなどで話題騒然となつて
いる彼女から聞いた。

精霊の言葉ではないが・・・
園長の策略だろうと思った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9965q/>

観覧車の精霊

2011年10月8日18時25分発行